



TAKE OFF press

TAKEO Future Frontier

【校是】 質実剛健 報恩感謝

佐賀県立武雄高等学校

校長通信 NO. 3 R5.05.01

文責 学校長 下村 昌弘

E-Mail [shimomura-masahiro@education.saga.jp](mailto:shimomura-masahiro@education.saga.jp)



学校 HP

## 正しいあいさつの仕方 - “あいさつは敵意を込めて” は本当か？ -

別役実<sup>べつやくみのる</sup>という劇作家の書いたエッセイに「正しいあいさつの仕方」という文章があります。これはお辞儀の角度であるとか、挨拶言葉<sup>あいさつ</sup>の例であるとか、そういう実用書的なものではなく、“そもそも人間はなぜ挨拶をするのか”という命題に対して、シニカルに考察したものです。

その結論に「あいさつはむしろ“敵意”を込めよう」と書かれているわけですが、これは何もケンカ腰に挨拶をするというのではなく、もともと違う人間なのだからという前提に立つて行くべきものだということのようです。(『日々の暮らし方』白水uブックス 1994)

最近、早朝校門に立って登校してくる皆さんを迎えています。「おはようございます」だけでなく「いってらっしゃい」「今日も頑張ってるね」「今日は寒いね」と声をかける場合もあります。最初は戸惑った人もいたようです。つまり、それに対してなんと受け答えをすべきか、しばし逡巡し、結果、笑顔で返す、みたいな。しかし、そういうコミュニケーションを心地よく感じています。

また、運動部の生徒さんでしょうか、足をそろえて一瞬止まり、お辞儀をしてくれる人もいます。これも実にさわやかな印象です。それに、校門に入るときに軽く一礼して入ってくる人もいて“学徒”感を抱きます。スバラシイ！

保護者や先生たちの中には、車の窓を開けて挨拶を返してくれる人もいます。御船が丘小の子供たちがワイワイ通り過ぎます。中には拾ったダンゴムシをわざわざ見せてくれる子もいます。



ところで、日本には「行き逢う時の礼」というのがあります。例えば、廊下や道路では中央が上座で端が下座。それを意識して歩く。神社の参道の真ん中を歩かないのは上座に当たるからです。

先日、校内で美しいお辞儀に出会いました。その生徒さんは廊下の端を歩いている。私はその反対側の端を歩いていた。すれ違う際、その生徒さんは私の少し前で立ち止まり、私の方に足先を向けて軽い会釈をしてくれました。しかも自然な感じで。

とても品があると感じました。スバラシイ！ きれいなお辞儀は、形としては頭、首筋、背筋がまっすぐになっているものです。しかし、相手を感じさせるお辞儀は、要は、相手の方に心をきちんと向けているかだと思いました。

この品のあるお辞儀に接して、改めて「人のために」という発想を自分の思考や言動の基本に据えたいものだと感じ入ったところです。「人のため」、…。別役実は、きっとそれを象徴的に「敵意を込めて」と言ったのではないのでしょうか。

## 傍観者から参加者に！ - 生徒会長決まる -

4月25日(火)、生徒会長選における立会演説会がオンラインで行われました。現会長の古賀孝太郎さんが「これは大事な投票です、しっかり聞いてください」と全校に向けて主権者意識を喚起し、ジブンゴトとしての雰囲気を作ってくれました。



演説する野田さん(右)

立候補者は2年の野田<sup>まなみ</sup>愛心さんと陣内<sup>じんないしょうえい</sup>翔瑛さんの2人。野田さんは責任感あふれるオーラで「傍観者から参加者に」をスローガンに、全校生の意識高揚を促し、制服や頭髪、武陵祭に関する具体的な提言を示してくれました。



演説する陣内さん（中央）

“自ら考え、自ら行動する”武高生の自主自立ということではないでしょうか。ぜひ、全校の皆さん、生徒会の新たな船出に協力と協働をお願いします！

## ああ青春のアンサンブル！ -中庭にさわやかな音色響く-

4月17日（月）、昼休みを利用して吹奏楽部による恒例の中庭コンサートが実施されました。部員の皆さんの軽快な音楽と踊りに、ギャラリーの皆さんは、お弁当をほおぼりながら、友達と肩を寄せ合いながら聞き入り、演奏には惜しみない拍手が送られました。当日は部員たちの願いが届き、スバラシイ晴天に恵まれ清々しい時間でした。

3年生の部員にとっては入学式、中庭コンサートが最後の晴れ舞台。昨年の新幹線開通記念コンサートで九州交響楽団とコラボした思い出の

“Make Her Mine”を含め、下級生たちとともに練習に励んだ思い出を胸に3曲を披露。

部長の福島らんさんは「聞いてくれた多くの皆さんに心から感謝している。ぜひ今度の県吹奏楽コンクールでは金賞を取りたい！」と力強く語ってくれました。



## この1本に集中せよ！ -弓道部春季弓道大会活躍の舞台裏-

4月22日（土）佐賀県高等学校春季弓道大会において女子Aチームが優勝を果たしました。これは昨年に続く大会2連覇でもあります。また、新人戦の優勝に続く2冠ともなり、相当なプレッシャーの中の快挙達成でした。



強化指定を受けた男女の主将（中央）と井手監督（右）

主将の中村<sup>ゆり</sup>優里さんは「学校や県を代表するにふさわしいチームとなるよう日々の行いをきちんとすることで平常心を養っています。今回はA、B両チームの力の差はなく、互いに切磋琢磨しあいながら技術を高めてきました。高校総体に向けても、特別なことと思わず、日々を積み重ねていくことで自信につなげたいと思っています」と語ってくれました。

女子Bチームも3位入賞。また男子Aチームも3位と弓道部の躍進が続いています。

なお、弓道部は男女ともSAGA2024に向け、令和5年度佐賀県強化拠点校に指定されています。

加えて、監督である井手崇裕先生は第78回国民体育大会の佐賀県トップコーチに認定され、その卓越した指導力を発揮されています。今後ますますの活躍を期待しています。

どの競技も頑張る武雄高校。レベルの高い文武両道を実践する学校としてとても誇らしいことです！

### 【当面の主な予定（5月前半）】

- 1日（月）月セミ（2年）・ハイレベル補（3年）
- 2日（火）心臓検診（1年、上級生は該当者）
- 9日（火）歯科検診（1年）
- 11日（木）3年小論文講演会
- 12日（金）スクールカウンセラー来校
- 13日（土）授業参観・PTA総会
- 15日（月）中間考査 ～17日まで